

議事録

令和5年度第2回三田市教科用図書選定委員会

日 時	令和5年7月5日(水) 10:00~16:45
開催場所	三田市教育研修所 5階多目的室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 兵庫教育大学准教授 伊藤 博之 委員長 ○ 三田市小学校PTA 近藤 江梨香 委員 ○ 三田市中学校PTA 澁谷 麻里沙 委員 ○ 三田市小学校長会 福本 八重歌 副委員長 ○ 三田市中学校長会 細見 和孝 委員 ○ 三田市中学校長会 足立 延也 委員 ○ 三田市小学校教頭会 赤木 智子 委員 ○ 三田市中学校教頭会 荒木 裕樹 委員
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三田市教育委員会学校教育部長 浅野 晋司 ○ 三田市教育委員会教育研修所長 小山 恵介 ○ 三田市教育委員会教育研修所係長 阿部 実
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> 1. レジユメ 2. 令和5年度第2回三田市教科用図書選定委員会資料 <ul style="list-style-type: none"> (1) 三田市教科用図書選定委員会規則 (2) 令和5年度三田市教科用図書選定委員会委員名簿 (3) 令和5年度三田市立学校教科用図書採択の基本方針 (4) 調査員会への依頼内容及びその観点 (5) 調査・研究報告書【学校教育法附則第9条の規定による教科書】 <ul style="list-style-type: none"> 《資料1》 (6) 説明資料「新規一覧表」【学校教育法附則第9条の規定による教科書】《資料2》 (7) 説明資料「削除一覧表」【学校教育法附則第9条の規定による教科書】《資料3》 (8) 調査・研究報告書【小学校教科用図書】《資料4》 (9) 令和5年度使用小学校教科用図書一覧 《資料5》 (10) 令和5年度使用中学校教科用図書一覧 《資料6》
議 題	<ul style="list-style-type: none"> 1. 調査員会による調査・研究結果の報告 <ul style="list-style-type: none"> ・9条一般図書、小学校教科用図書 2. 報告に関する質疑応答 3. 協議

第2回選定委員会

1. 開会

- ・配布資料の確認。
- ・委員長の司会により開会。
- ・三田市教科用図書選定委員会規則第3条の2全員の出席(過半数出席)により、本会成立を確認。
- ・調査員のまとめた報告書を基に協議し教育委員会に答申する。

2. 報告事項及び協議事項

〈経過報告〉

事務局

- ・第1回選定委員会を開催し、三田市教科用図書選定委員会規則に基づき調査委員会を設置。
- ・第1回調査員会(5月12日)を開催。以降、調査員長を中心に調査委員会を開催し、約1ヶ月の調査・研究を行う。
- ・三田市教育研修所4階にて教科書展示会を開催(6月14日～6月27日)。来場者は57人。アンケートによる意見は6件。

〈教科書展示会について〉

事務局

- ・アンケートによる意見の内容について。
 - ①実際に手に取って、版のサイズやレイアウト、色調、見やすさが確認できた
 - ②表現に工夫がされていて、最新の研究の成果も反映されている
 - ③教科書会社によって、重量にも違いがあることを初めて知った
 - ④子どもたちにとって、より理解しやすくより楽しく学習できる教科書を採択してほしい

〈「学校教育法附則第9条の規定による一般図書」の報告及び質疑、協議〉

【報告】

9条図書調査員長

- ・特別支援学級及び特別支援学校小学部・中学部に在籍する児童生徒の障害種別、状況、能力、特性に応じた一般図書であるかどうかについて調査した。
- ・第1回調査員会(5月12日)後、2回の調査委員会を開催し、調査研究の内容を協議。その後、最終的な調査研究の内容を調査・研究報告書にまとめた。
- ・調査研究にあたっては、本選定委員会における採択方針に従うとともに、公正確保の徹底に努め、公正公平に調査を行ったことを併せて報告する。
- ・本選定委員会より受けた「依頼内容及びその観点」により、6つの観点から調査研究を行い、今回新たに追加した12冊について説明する。

<調査・研究報告書に基づき説明>

【質疑、協議】

委員長

- ・「音楽をもっと好きになる本2 いろいろな楽器を知る」「心をのばすソーシャルスキ

ルトレーニング用ワークシート「下」について、「音楽をもっと好きになる本1 歌や演奏を楽しむ」や「心をのぼすソーシャルスキルトレーニング用ワークシート「上」は過年度に採択しているのか。それとも選ばずに「音楽をもっと好きになる本2 いろいろな楽器を知る」と「心をのぼすソーシャルスキルトレーニング用ワークシート「下」を選んだのか。

9条図書調査員長

- ・中学校用として採用しているため、「音楽をもっと好きになる本1 歌や演奏を楽しむ」や「心をのぼすソーシャルスキルトレーニング用ワークシート「上」は調査していない。「音楽をもっと好きになる本1 歌や演奏を楽しむ」は小学校とのつながりはない。「心をのぼすソーシャルスキルトレーニング用ワークシート「上」は小学校用であるため、次年度以降検討する。

副委員長

- ・「にじいろのさかなブックまけるのもだいじだよにじいろのさかな」について図工・美術にチェックがついているが、具体的にどのような活用が想定されているか。

9条図書調査員長

- ・絵が美しいので、それを見ながらいろいろな創作活動に活用できるのではないかと考えている。
- ・色づかいについても活用できる。

委員

- ・障害種別の聴覚、視覚はどのような視点でチェックをつけたのか。

9条図書調査員長

- ・もともと教科書に記載されている種別を参考にした。文字、色なども参考にした。

委員長

- ・教科の全体のバランスについてどう考えているか。

9条図書調査員長

- ・昨年、4教科の選定が少ないという意見や、学校の先生方の希望を参考にした。理科は少ないと感じている。

委員

- ・金額が高いものがある。過年度はそこまで高額のものが入っていない。費用については考えたか。

9条図書調査員長

- ・使いたいものが高額であった。

委員長

- ・制限はあるか。

事務局

- ・教科用図書の定価を参考に、過去にこれより高額なものは不採用となったことはある。

副委員長

- ・14冊を調査し、12冊を採用とあるが、採用しなかった2冊の理由を教えてください。

9条図書調査員長

- ・「小学基本トレーニング漢字12級」は、繰り返し学習することが知的学級の子供達には有効であり、「小学〇年」ではなく「〇級」と表記されているのも良い点だが、ドリルであるため、特別支援学級において教科書に代わるものとして継続的に使用することには適さないと判断した。「自立生活ハンドブック16 性・Say・生」については、自立した生活を送るために大切なことを学ぶことができ、イラストを使い分かりやす

い。支援者としても使いやすい。しかし、自立生活を送れるように考えて構成されているため、性教育という枠を超え積極的に行動する中身になっている。そのため、教科書に代わるものとしては適さないと判断した。

委員

- ・「学校では教えてくれない大切なこと（1）整理整頓」のタイトルは、学校の教科書として採択するのに調査員会ではどのように整理されたのか。

9条図書調査員長

- ・タイトルより中身を重視した。

委員長

- ・特別支援の場合なので、通常学級で学べないことが学べるということで必要ではないか。

委員長

- ・これまでの議論から、異議はなかった。
- ・新たに12冊を加えることで、異論はないか。

委員

- ・異論なし

事務局

- ・事務局より「令和5年度学校教育法附則第9条の規定による教科書 調査・研究報告書」について補足説明。
- ・小中学校用教科用図書（検定本）及び文部科学省著作教科用図書を当該学年より下の学年の内容に替えて指導する場合及び、特別支援学級及び特別支援学校小中学部在籍児童生徒が拡大教科書等を用いて指導する場合は、一般図書として使用できる。
- ・これらに併せ文部科学省著作教科書も教科書として使えるということも含め特別支援学級及び特別支援学校小中学部の教科用図書の答申となる。
- ・これらの点についても承認願う。

委員長

- ・意見はないか。

<全委員異議なし>

<全委員承認>

委員長

- ・これまで採択されている一般図書に加え、今回新たに報告された一般図書12冊を合わせた341冊を、「学校教育法附則第9条の規定による一般図書」として教育委員会へ答申する。

《「小学校教科用図書」の報告及び質疑、協議》

<音楽>

【報告】

音楽調査員長

<調査・研究報告書に基づき説明>

【質疑・協議】

委員長

- ・意見はないか。

- ・今使っているのは教育芸術で、4年間使って何か意見はなかったか。

音楽調査員長

- ・3観点意識されており、ねらいもしっかり示されている。令和6年度使用の方が楽譜が小さくなっているが、どこを見ればいいのか分かりやすくなっている。
- ・音楽づくりについても、今までは教師が自作した教材を使っていたが、それ以上にいいものがたくさんある。

委員

- ・音楽専科以外の担任が教えることもあるので、教育芸術社のものはめあてが分かりやすく、コンテンツも充実しているのでよい。

委員長

- ・意見はないか。

<全委員異議なし>

<全委員承認>

委員長

- ・令和6年度使用教科用図書「音楽」について、第一候補を教育芸術社、第二候補を教育出版として教育委員会に答申する。

<家庭>

【報告】

家庭調査員長

<調査・研究報告書に基づき説明>

【質疑・協議】

委員長

- ・現在使用している東京書籍だが、これまで使用してきて何か意見はなかったか。

家庭調査員長

- ・特に使いづらいという意見はなかった。

副委員長

- ・東京書籍の動画コンテンツの良さは何か。

家庭調査員長

- ・どちらも情報量が多いが、東京書籍は動画コンテンツから単元に立ち戻ることができる。

副委員長

- ・様々なところに動画コンテンツがあり、子どもたちがわかりやすい。それがちりばめられていることで、自分から学ぼうとすることができる。

委員長

- ・SDGsの視点が持ちやすいという点について、もう少し詳しく説明してほしい。

家庭調査員長

- ・動画が見やすい角度で作られている。SDGsに関しては、5年生の早い段階でふれられている。このことで、学習と生活が結びつきやすい。

委員

- ・複式の件について、開隆堂を採択した場合、複式学級の多い三田市においては指導上難しいという認識で間違いはないか。

家庭調査員長

- ・東京書籍の方が同じ時期に同じ内容のものを取り扱っている。
- ・移行期にカリキュラムを組みやすい。

委員長

- ・意見はないか。

<全委員異議なし>

<全委員承認>

委員長

- ・令和6年度使用教科用図書「家庭」について、第一候補を東京書籍、第二候補を開隆堂として教育委員会に答申する。

<国語>

【報告】

国語調査員長

<調査・研究報告書に基づき説明>

【質疑・協議】

委員

- ・東京書籍の6年「スーパー歌舞伎2 ワンピース」の写真はそのまま使用されるのか。

国語調査員長

- ・そこには気が付いていなかった。修正が必要であれば、東京書籍が修正される。

委員長

- ・検定後であるが、社会的な事情により修正が求められれば、教科書会社が修正する。

委員長

- ・現在東京書籍を使用している。これまで、何か意見はないか。

国語調査員長

- ・東京書籍については使いにくいなどの意見はない。

委員長

- ・同じ教科書を継続することのメリットも大きい。

副委員長

- ・東京書籍の良さとして挙げられていた、学びの道筋がわかりやすいということは、学習指導要領がめざす「子どもたちが自ら学ぶ」、「身につけさせたい力をつける」という意味では、よく見える教科書になっている。若手も意識して取り組める。

委員長

- ・全国的に若手が増えている。そういった現状で標準化しやすい視点も大切。
- ・意見はないか。

<全委員異議なし>

<全委員承認>

委員長

- ・令和6年度使用教科用図書「国語」について、第一候補を東京書籍、第二候補を光村図書として教育委員会に答申する。

<社会・地図>

【報告】

社会調査員長

<調査・研究報告書に基づき説明>

【質疑・協議】

委員長

- ・現状使っているものがそれぞれ第1候補。この数年間使用してきて、使いづらさなどの意見はなかったか。

社会調査員長

- ・今使っている物以上に使いやすくなっている。特に日本文教出版は色分け、学習の段階等において使いやすくなっている。

委員長

- ・同じ教科書を使い続けるデメリットは検討したか。

社会調査員長

- ・していない。

委員長

- ・SDGsをどのように位置づけているか

社会調査員長

- ・今話題として出ていることをそれぞれの学年で、いろいろなところで関連付けて学習を進めることが大切である。

副委員長

- ・目標シールの活用について、どのような話が出たのか。

社会調査員長

- ・シールの使い方については話があったが、活用については議論していない。

副委員長

- ・シールはかなりの枚数がある。
- ・子どもたちの意識づけにつながってくるのではないか。

委員

- ・日本文教出版の3、4年生の取り扱いが優れていることが決め手になったとの認識で間違いはないか。

社会調査員長

- ・はい。身近なところを取り扱っていることに加え、資料と本文との関連性も考慮した。

委員長

- ・意見はないか。

<全委員異議なし>

<全委員承認>

委員長

- ・令和6年度使用教科用図書「社会」について、第一候補を日本文教出版、第二候補を東京書籍、令和6年度使用教科用図書「地図」について、第一候補を帝国書院、第二候補を東京書籍として教育委員会に答申する。

＜生活＞

【報告】

生活調査員長

＜調査・研究報告書に基づき説明＞

【質疑・協議】

委員長

・現在も啓林館を使用している。これまで使用してきて、何か不具合はないか。

生活調査員長

・現時点で啓林館の課題は挙がっていない。

委員長

・同じ教科書を使い続けるメリット、デメリットについて検討したか。

生活調査員長

・兵庫がどれだけ扱われているかを検討材料にし、啓林館が妥当だと考えた。

委員長

・生活は啓林館、社会は日本文教出版、理科は啓林館。3年生以降の学年への接続面で何か不具合はないか

生活調査員長

・委員会では検討していない。私見として対応可能であると考えている。

副委員長

・デジタルコンテンツに「音を聞く」とあるが、どういった内容か。

生活調査員長

・例えば、セミの鳴き声。リアルなふれ合いとともに、デジタルを活用して触れる環境が整った。

副委員長

・啓林館は写真やデジタルの資料もきれいである。子どもたちは生活経験があるので、リアルに実感できるかが重要であると感じた。

委員長

・意見はないか。

＜全委員異議なし＞

＜全委員承認＞

委員長

・令和6年度使用教科用図書「生活」について、第一候補を啓林館、第二候補を東京書籍として教育委員会に答申する。

＜算数＞

【報告】

算数調査員長

＜調査・研究報告書に基づき説明＞

【質疑・協議】

委員長

・現在、三田市の使用教科書は啓林館であるが、使用してきて使いにくい点や課題等は

感じたことはあるか。

算数調査員長

- ・課題解決型の学習の流れに沿った紙面構成となっており、使いにくいという意見はなかった。扱いやすいと感じている。各社、2次元コードが記載されているが、扱いには慣れが必要である。

委員長

- ・同じ教科書を長期に使うこと、継続して使うことのメリット・デメリットはあるか。

算数調査員長

- ・修正は必要になってくるが、今までの学習計画を継続して使うことによる業務改善もあるが、ただ、単元によっては、他の出版社の教科書と比較する等の教材研究も必要かと思う。

委員長

- ・意見はないか。

<全委員異議なし>

<全委員承認>

委員長

- ・令和6年度使用教科用図書「算数」について、第一候補を啓林館、第二候補を東京書籍として教育委員会に答申する。

<図画工作>

【報告】

図画工作調査員長

<調査・研究報告書に基づき説明>

【質疑・協議】

委員長

- ・現在、三田市の使用教科書は日本文教出版であるが、使用してきて使いにくい点や課題等は感じたことはあるか。

図画工作調査員長

- ・使いづらいという声は聞いていない。

委員長

- ・同じ教科書を長期にわたって使うこと、継続して使うことのメリット、デメリットはあるか。

図画工作調査員長

- ・教科書に掲載されている教材について詳しく調べたり、専科教員から教えてもらったりすることがしやすいと教員からの声がある。

委員長

- ・意見はないか。

<全委員異議なし>

<全委員承認>

委員長

- ・令和6年度使用教科用図書「図画工作」について、第一候補を日本文教出版、第二候補を開隆堂として教育委員会に答申する。

<理科>

【報告】

理科調査員長

<調査・研究報告書に基づき説明>

【質疑・協議】

委員長

- ・現在、三田市の使用教科書は啓林館であるが、使用してきて使いにくい点や課題等を感じたことはあるか。

理科調査員長

- ・啓林館には、もくじのページの探しにくさという弱点はある。

委員長

- ・東京書籍は、もくじは見やすいものか。

理科調査員長

- ・その通りである。

委員長

- ・同じ教科書を長期に使うこと、継続して使うことのメリット、デメリット等はあるか。

理科調査員長

- ・三田市の児童の行動範囲の動物園等が取り上げられる等、兵庫県、三田市に関連させやすい教材の掲載数が多く、身近に感じやすい。

副委員長

- ・教科書に掲載されている順に、教員はカリキュラムを組んでいく。気候、気温等の気象条件を配慮して配列されており、一つ一つの実験の結果は子どもたちの学びにとって重要である。それを考慮して選ばれている。

委員

- ・植物の取り扱いについて、扱いやすいものであるのがよい。

委員長

- ・意見はないか。

<全委員異議なし>

<全委員承認>

委員長

- ・令和6年度使用教科用図書「理科」について、第一候補を啓林館、第二候補を東京書籍として教育委員会に答申する。

<保健>

【報告】

保健調査員長

<調査・研究報告書に基づき説明>

【質疑・協議】

委員長

- ・現在、三田市の使用教科書は東京書籍であるが、使用してきて使いにくい点や課題等を感じたことはあるか。

保健調査員長

- ・特にはない。

委員長

- ・同じ教科書を長期に使うこと、継続して使うことのメリット、デメリット等はあるか。

保健調査員長

- ・継続という点でのメリット、デメリットは特に意見はない。子どもたちが学びを進める上での書き込む欄のバリエーションが多く使いやすい。

委員

- ・インターネット依存症等の掲載について、東京書籍は充実しているか。三田市の児童の課題との適合の程度はどうか。

保健調査員長

- ・複数の依存症のところ掲載あり。

副委員長

- ・児童への問いかけのバリエーションはよいと考える。前学年での書き込み等、活用ができるかと考える。

委員

- ・薬物の取り扱い、オーバードーズのことも取り上げられているのでよいと考える。

委員長

- ・意見はないか。

<全委員異議なし>

<全委員承認>

委員長

- ・令和6年度使用教科用図書「保健」について、第一候補を東京書籍、第二候補を光文書院として教育委員会に答申する。

<書写>

【報告】

書写調査員長

<調査・研究報告書に基づき説明>

【質疑・協議】

委員長

- ・現在、三田市の使用教科書は東京書籍であるが、使用してきて使いにくい点や課題等を感じたことはあるか。

書写調査員長

- ・使いやすい。

委員長

- ・同じ教科書を長期に使うこと、継続して使うことのメリット、デメリット等はあるか。

書写調査員長

- ・オノマトペ等を指導で扱っているため、慣れ、使いやすさがあるかと考える。国語科

との関係からもメリットはあるかと考える。

委員

- ・国語科との関連等、国語科の時間のひとつとしての書写とみても同じ出版社のメリットはあるかと考える。

委員長

- ・デジタルコンテンツの観点からはどうか。

書写調査員長

- ・東京書籍、光村図書が充実している。

委員長

- ・意見はないか。

<全委員異議なし>

<全委員承認>

委員長

- ・令和6年度使用教科用図書「書写」について、第一候補を東京書籍、第二候補を光村図書として教育委員会に答申する。

<外国語>

【報告】

外国語調査員長

<調査・研究報告書に基づき説明>

【質疑・協議】

委員長

- ・現在、三田市の使用教科書は東京書籍であるが、使用してきて使いにくい点や課題等を感じたことはあるか。

外国語調査員長

- ・デジタルコンテンツの音声英文が一つあたり時間が2分程度と長く、児童へ問うとき前半部分の聞き取りがうすくなってしまうことがある。

委員長

- ・同じ教科書を長期に使うこと、継続して使うことのメリット、デメリット等はあるか。

外国語調査員長

- ・音声の長さが、新しい教科書では一つの文章が30秒程度と短くなっていることにより、使い勝手も向上している。文法の新出の言語材料が、今までは5年生に集中していたが、5・6年のバランスの調整もあり、5年生の負担が減っている。

副委員長

- ・東京書籍は、記入欄が充実している。書き込みの時間が必要となるが、その評価はどうか。

外国語調査員長

- ・児童によっては、欄を埋めることが難しいこともある。そこは個々の実態に応じて調整している。英語嫌いにならないことを留意した授業づくりに努め、教員の工夫で対応できると考える。

委員長

- ・記入欄等もうまく活用していけるようにしてもらいたい。

委員

- ・専科教員も三田市では増えてきているが、担任による授業もある。継続することの使いやすさ等はあるかと思う。

委員長

- ・意見はないか。

<全委員異議なし>

<全委員承認>

委員長

- ・令和6年度使用教科用図書「外国語」について、第一候補を東京書籍、第二候補を啓林館として教育委員会に答申する。

<道徳>

【報告】

道徳調査員長

<調査・研究報告書に基づき説明>

【質疑・協議】

委員長

- ・現在、三田市の使用教科書はあかつき教育図書であるが、あかつき教育図書は教科書を出していない。新しい教科書への接続や連続性について何か議論はしたか。

道徳調査員長

- ・定番教材があるかどうか、本市で研修を続けてきた、登場人物の心情の before-after を考える教材になっているかどうか、兵庫にゆかりのある偉人に関する教材があるかどうかという点から、あかつき教育図書と同様に充実している日本文教出版を推薦する。

副委員長

- ・いじめについての取り扱いについては、推薦する2社、他はどうだったか。

道徳調査員長

- ・掲載されている。

委員

- ・ネットモラルはどうか。

道徳調査員長

- ・掲載されている。SNSの記述が多くなっている。

委員長

- ・デジタルシチズンシップについてはどうか。

道徳調査員長

- ・そこまでの記載はない。

委員

- ・兵庫県では、以前から副読本も活用した中心発問を教材研究の中心に位置づけて取り組んできた。三田市としては、日本文教出版が扱いやすいと感じた。

委員長

- ・意見はないか。

<全委員異議なし>

<全委員承認>

委員長

- ・令和6年度使用教科用図書「道徳」について、第一候補を日本文教出版、第二候補を光村図書として教育委員会に答申する。

《連絡事項》

事務局

- ・本選定委員会の協議結果を受けて、教育委員会に答申する。
- ・本会議の資料については、8月31日まで厳重に保管願う。

《閉会挨拶》

副委員長

- ・基本方針を踏まえた丁寧な審議に感謝。

委員長

- ・以上をもって、第2回三田市教科用図書選定委員会を終了する。